

携帯電話メールの活用方法

2012-10-18

携帯電話のメールの便利な機能の確認

1 本文・宛先メールアドレス等のコピー機能

2 メールアドレスの簡単登録

3 反転表示の意味と機能

反転表示されている項目に関する処理メニューのオペレーション

4 メール保護と解除

例 ☆「南流山駅発宮園行きのバス時刻表」を記載したメールを保護扱い処理して時刻表フォルダの中に保存すれば便利。

☆ 平日昼間の閑散時間帯の時刻表・乗り換え時刻表

5 メールフォルダの機能

保護扱いメールが増えたらフォルダで整理する。

作成 移動

フォルダの項目の例 会合予定 時刻表

会合案内メールの要点を編集して自分の携帯メールの送信して、保護扱いをして会合予定に収納し、会合が終わったら保護を解除する。

高いインク代が節約できます。

6 メール例文利用

7 メール短文登録

8 メール署名設定

9 パソコンから携帯電話の自分のメルアド宛にデータを送って活用

例 メルアド一覧表

10 携帯電話のデータのバックアップ 電話器でmicroSD メモリーカードを使う

携帯電話のデータについて、半年に1回くらいバックアップデータを作成して、電話器の外に保存した方がいい。

☆ドコモ・ショップにはデータを無料CDにバックアップするサービス有
☆電話会社のバックアップサービスの利用 (例 ドコモケータイ **datalink**)

携帯電話の通話料の節約方法

無料通話以外を **G-CALL** で通話して、携帯通話料金を節約しています。家族以外の通話利用が多い人にはお薦めのサービスです。支払いは利用した通話料だけで、登録料・申込料・基本料等は一切無料。通話料は携帯電話宛が1分30円、固定電話宛が1分20円。(ザックリ言って、4割引きくらいでしょう)。

利用方法は、4桁の番号を相手先番号の前につけてダイヤルするだけ。(私の場合は **0063** をつける)
料金はクレジットカード払い。

4桁の番号を相手先番号の前につけてダイヤルする件については、携帯電話の電話帳に複数の番号を簡単に登録可能なので、不便はありません。

ホームページでの申し込み／問合せ先 www.g-call.com
電話での申し込み／問合せ先 **0120-979-256**

ショートメッセージ・サービスの概要

2012-10

よその電話会社宛ショートメールが昨年2011年に自由化されました。

ショートメッセージ・サービスの利用が増えると音声電話収入が減ることを心配してか、携帯電話会社がショートメッセージ・サービスをマトモに説明しないため、サービス自体の存在を知らない人がまだ多いようです。

1 携帯電話同士で、電話番号だけで、数十文字の短いメッセージ（ドコモの場合、70文字以内）を送受信する、ショートメッセージ・サービスという簡便なサービスがあります。（略称はSMS）

SMSは海外の携帯電話では標準メールとして普及しているようですが、従来、日本では、同一電話会社間の送受信に限定されて、電話会社をまたがったやり取りはできませんでした。

ようやく、ショートメールが自由化され、2011年7月から、NTTドコモとソフトバンクモバイル、KDDIなど携帯電話5社で、他社の端末にもショートメッセージを送信できるようになりました。

これに伴い、NTTドコモがSMSの1本当り送信料を最大7・35円から3・15円に値下げしました。

ちなみに、SMSの費用は発信時の送信料だけで、受信者は無料、ドコモのiモード・メールのような月額基本料金315円もありません。うまく活用すれば、携帯電話代が節約できます。

SMSは長い電報電文みたいメールですが、特に威力を発揮しそうなのは、電話機能しか使っていない高齢者の携帯電話宛にメール送信できるようになることでしょう。

2. ショートメッセージ・サービスはスマート・フォンでも利用できます。

ドコモのスマート・フォンのショートメッセージ・サービスのアプリは、「SMS」か「メッセージ」というアプリのようです。